



PLUS ULTRA

富キャン Express

Vol.22



～ The emblem of HAKUOH UNIVERSITY ～ 白鷺大学足利高校富田校舎広報

The checker means five continents, the stripe means three oceans, and they express the posture that we'll have a good look at the world widely.

富can祭を終えて

教頭 中戸 康平



7月15日・16日の2日間にわたり、「富can do it!」のテーマのもと、富can祭(学校祭)が開催されました。本格的に準備に取り掛かることが出来たのが期末テスト後の富can祭開催の1週間前であったため、生徒達は果たして間に合うのだろうか、不安に駆られながら催し物作りを始めました。

しかし、3年に一度の富can祭に寄せる生徒達の思いは熱く、生徒会や実行委員会の生徒を始め、多くの生徒が朝早くから放課後遅くまで、仲間と気持ちを一つにして生懸命に準備に取り組んだ結果、開催までに40余りの催し物を準備することが出来ました。

1日目の校内公開日では、一日中雨というあいにくの天気でしたが、生徒会役員・進学3の4中里護君(広沢中)の開会宣言、岡部宣男校長先生の挨拶、生徒会副会長・進学3の1兵藤右京君(佐野西中)の挨拶に引き続き、オープニングイベントとして行われた生徒会主催による恒例の「男装女装コンテスト」が始まると、雨音を掻き消すような大歓声が湧き上がり、会場は一気に盛り上がりました。その後、各催し物会場が次々とオープンしましたが、ご来賓も生徒でいっぱい盛況ぶりでした。



テープカットの様子

恵まれ、午前中の早い時間から、PTAの本部役員の方々や保護者の方々、卒業生、他校の中学生や高校生など大勢のお客さんに来校していただくことが出来ました。これらのお客さんを前に、オープニングセレモニーとして6号館前でテープカットが行われました。生徒会副会長・兵藤右京君と富can祭実行委員長・進学3の3菊本海進さん(明和中)と教頭の私の3人によりテープにハサミが入ると、吹奏楽部の奏でるファンファーレが、梅雨の晴れ間の青空に

高らかに鳴り響きました。6号館前の広場では、手作りの食べ物や飲み物などを販売する模擬店が所狭しと立ち並び、どの店も行列が出来るほどの繁盛振りでした。生徒達は、前日の仕込みから多忙な作業に追われながらも、自分の役割分担をしっかりと果たそうと真剣な顔付きで接客に当たっていました。同時にお客さんとのコミュニケーションを楽しんでいるようでもありました。



茶道部

校舎の中では、クラス、運動部、文化部、同好会などの催し物が行われ、ちよつと頭を使うアカデミックなものから、楽しさを売り物にしたお遊び的なものまで、その内容はバラエティーに富んでいます。この会場も入場者が多く、中には、30分待ち、1時間待ちの会場も出るほどでした。係の生徒は大変忙しい中、とても嬉しそうにお客さんの対応に追われていました。また、文科省指定のSSH活動の研究発表や、本校の歴史展、白鷺大学の紹介、男子ソフトボール部と女子サッカー部の活動内容の紹介、白鷺大学足利中学校の生徒作品展などの会場も設けられ、訪れた人達は熱心に展示を見ていました。

体育館では、合唱部、吹奏楽部、演劇部、ダンス同好会、有志生徒連

などが、日頃の練習の成果を遺憾なく発揮して、素晴らしい発表や演技を披露して拍手喝采を受けていました。

このように、生徒が一丸となって作り上げる富can祭というイベントは、絶対に成功させたいという生徒の強い気持ちにより大成功に終わりました。全員の生徒がそれぞれの場所所で思う存分に自分の力を発揮している姿はとても輝かしいや態度も礼儀正しく、今回の富can祭を通して富田校舎の生徒達をとて頼もしく誇らしく思いました。生徒達にとつても、この2日間は、決して忘れることのない最高の思い出になったことでした。



オープニングイベント 男装女装コンテスト



白鷺の歴史コーナー

修学旅行(沖縄関西方面) 沖縄の自然と歴史、 関西の文化を感じて

11月5日から9日にかけて、2学年の生徒125名が沖縄と関西へ修学旅行に行きました。

沖縄では、マリンスポーツやシーサー作りなど、沖縄ならではの貴重な体験をすることができました。また、ひめゆり資料館で行われた平和講話では、想像以上の凄惨な歴史に触れ、現代を生きる私たちが伝えていかなければならないと強く考えさせられました。関西では、本場のお好み焼きを体験し、ユニバーサルスタジオジャパンや京都大学、北野天満宮の見学をし、友人との絆がさらに深まったように思います。

沖縄で学んだ「平和」 中高貫教育コース2年1組 田島 秀星(白鷗足利中)

夏休み前まではアメリカへの修学旅行を楽しみにしていました。今年には世界情勢が不安定なため行き先が沖縄、関西方面へ変更されることになりました。このことをとても残念に思いましたが、今では沖縄に行くことができたとおもいます。理由は、3日目に訪れたひめゆりの塔や沖縄平和祈念公園で、沖縄で起きた戦争



首里城にて

の過酷さや平和の大切さをより実感することが出来たからです。

ひめゆり学徒隊の一員として実際に戦争を体験した方がお話ししている映像を見て、壮絶で生々しい経験を感じました。その中で一番恐ろしかったことは自分たちが何も「知らなかった」とことごとおっしゃっていました。戦争について誤った事実を知らされていたため、最善の行動が出来ず多くの友人を失ったそうです。それを聞いて、自分も沖縄の歴史について深く「知りたい」と思いました。資料館で沢山の資料や写真を見て、戦争の悲惨さや現代の日本がどれだけ平和であるかを知ることが出来ました。一人一人が戦争について深く知り、それを語り継いでいくことにより、今の平和が永遠に続いてほしいと強く感じました。



マリンスポーツ ドラゴンボート



ユニバーサルスタジオジャパンにて

修学旅行(沖縄方面) 沖縄の美しい海と、 戦争の記憶

11月5日から9日にかけて、2学年の生徒26名が沖縄へ修学旅行に行きました。初めに石垣島を訪れ、美しい海や珊瑚など豊かな自然を体験しました。竹富島では、沖縄の伝統を残した集落を間近で見ることができました。沖縄本島で

は琉球王国の歴史と文化に触れ、また戦跡地を訪れることで平和への思いを層強くしました。

ひめゆりの塔を訪ねて 特別選抜コース2年1組 渡邊 祥大(多々良中)

爆風を受けて死亡、ガス弾によって死亡、砲弾が直撃し死亡、手榴弾によって自決...

4日目に訪れたひめゆりの塔資料館では、ひめゆり学徒隊と引率の教員たちの顔写真が詳細な死因と生前の人物とともに、部屋一面を囲むようにして展示されています。その光景が今も頭から離れません。100枚以上の顔写真に囲まれ、しかもその全てがこの地で犠牲となった人々だということを感じると、言い知れない恐ろしさを感じました。「ひめゆり学徒隊、教員240人の内136人が死亡。」数字だけを見るよりも、一人一人の生徒の生前の様子や死因を知ること、実際にこの人たちが生きていて、そして実際に犠牲になったのだということが初めてリアルに感じられ、今まで自分がいかに戦争を漠然としか知らなかったのだろっかと思ひ知らされました。

現在、

戦争体験者が年々減少し、どのよう



石垣島、川平湾にて



竹富島でサイクリング

かが大きな課題となっています。約70年前この日も本も戦争をしていて、そのことを忘れて生活していかないと思いました。

リンカーンスピーチコンテスト

11月16日から23日まで、第14次青少年英語スピーチコンテスト優秀者訪米団の一員として、特選2の1関口颯太君(坂西中)が、アメリカ合衆国スプリングフィールド市を訪ねました。旧州議事堂でリンカーンのゲティスバーグの演説を披露した関口君は、地元



ホストファミリーと一緒に



スピーチコンテストで優秀賞を獲得

リンカーンゆかりの地を訪ねて 特別選抜コース2年1組 関口 颯太(坂西中)

訪米団の一員として訪れたアメリカイリノイ州は、私にとって初めての海外でした。ホームステイもスプリングフィールドやシカゴ市内視察も全てが新鮮で、有意義な体験をすることができました。

最も印象に残っているのは、訪米団の活動の1環として行った、旧州議事堂でのリンカーンのゲティスバーグスピーチです。歴史ある荘厳な舞台上立つと、リンカーンの功績の偉大さが実感できました。当日は、スプリングフィールド市長が出席して下さったり、地元のテレビ局や新聞社の取材があつたりしてとても緊張しました。しかしそれ以上に、大勢の市民の前でリンカーンと同じスピーチができることに気持ちは高揚しました。スピーチ披露後には、予想以上に大きな拍手をいただき、多くの人に声を掛けてもらえたことも、私の自信と成長につながりました。

今回の訪米で、国際社会における国家間の相互理解の大切さを学びました。また、今後の国際社会を担っていく者としての役割も自覚しました。この貴重な体験を与える機会を下さった全ての方に感謝します。



足利市長表敬訪問

一日体験学習

8月27日・28日に、栃木県内外の多数の中学校から、2000名を超える中学生や保護者の方々に迎えて「一日体験学習」が行われました。

シーガルホールでは、生徒会の生徒による、学校紹介のプレゼンテーションが行われ、授業の様子や修学旅行、体育祭・文化祭などの学校行事が紹介され、教頭先生からは学校の教育方針が語られました。

また、各教科で工夫を凝らした模擬授業が開講され、実践的な授業体験が行われました。外国人講師との英会話を体験する「英会話を楽しもう」、電気分解を利用して文字を書く「針金で書道」、地理

に関する問題をクイズ形式で出題する「地理の部屋へようこそ」などです。

わかりやすくユニークな授業で、担当した先生方の熱意に溢れ、活気ある授業が展開されました。

参加者に富田キャンパスの雰囲気や学習環境が肌で感じてもらえるような2日間となりました。



針金で書道



英会話を楽しもう!

第22回合唱祭

感動に包まれたシーガルホール

11月18日、第22回富田校舎合唱祭がシーガルホールで開催されました。約120名の保護者が鑑賞する中、課題曲のmiwa作詞・作曲の「結ゆい」と各クラスそれぞれの自由曲が披露されました。高校生活最初で最後の合唱祭であり、各クラスとも全員で協力して、昼休みや放課後の練習に励んできました。その成果を十分に発揮し、どのクラ

スも美しいハーモニーで、パフォーマンスに優れた個性豊かなものとなりました。また、第一部として、本校出身のミュージカル俳優の本田育代さんによるミニコンサートも行われました。パワフルなプロの歌声を満喫し、思い出に残る一日となりました。



ゲストの本田 育代さん

一学年 大学見学

都内3つの大学を訪れて

11月8日、1年生の恒例行事である大学見学が実施されました。今年度は慶應義塾大学、早稲田大学、中央大学の3つの大学から、希望する大学をそれぞれ訪問しました。生徒たちは、富田キャンパスの卒業生が案内するキャンパスツアーに参加したり、入試説明を受けたり、学食体験をしたりなど、

有意義な時間を過ごすことができました。どの大学を訪れた生徒も、充実した施設や意欲的な学生達の姿に感銘を受けていました。



富キャンの先輩によるキャンパスツアー(慶應義塾大学)



集合写真(中央大学)



集合写真(早稲田大学)

第22回 合唱祭 結果

最優秀賞	
特別選抜コース1年2組	中高一貫教育コース1年1組
優秀賞	
特別選抜コース1年1組	
最優秀指揮者賞	特別選抜コース 1年1組 秋山 柁太くん(白鷺定期中)
最優秀伴奏者賞	進学コース 1年3組 齋藤 大河くん(広沢中)



最優秀賞(特別選抜コース1年2組・中高一貫教育コース1年1組)



優秀賞(特別選抜コース1年1組)



最優秀指揮者賞の秋山 柁太くん



最優秀伴奏者賞の齋藤 大河くん

合唱祭を終えて

仲間との絆

特別選抜コース1年1組
櫻井 香織(板倉中)

私が合唱祭で一番大事にしていたことは、賞よりも大切なことを掴むということでした。

私は合唱がとても好きで、高校生活一度きりの合唱祭を最高のものにしたと思います、実行委員長に

立候補しました。

今回の課題曲であった「結」の歌詞で「僕たちはなにより強い絆で結ばれている」という言葉が心に残っています。各クラス様々な困難があったと思います。その壁を乗り越えるごとに皆丸となり、紆余曲折を経て、当日舞台の上で歌う姿はとても輝いていて、仲間を信じ、強い絆で結ばれているように見えました。

合唱祭を通じて、今という時を共有しあったクラスメイトのことは、きついつまでも忘れないでしょう。将来ふと思い返した時に最高の思い出といえる合唱祭になったと思います。

たくさんの感動をありがとうございました。



富can祭

生徒一人ひとりが全力で臨む文化祭

7月15日・16日に、3年に一度の富can祭が開催されました。「富can祭」という名称は富田キャンパスの「キャン」に「できる」の「can」をかけて、「やる気になれば何でも出来る」という意欲と自分たちに秘められた可能性を表したものです。

生徒たちの意気込みは例年以上でした。開催が近くなると各クラスの片隅にはお化け屋敷の提灯や、模擬店の看板などが置かれるようになり、日に日に昂揚感が増していく様子を感じられました。開催前日には各クラス、各系の準備を兼任しつつ精力的に活動する生徒たちの姿が多く見られました。



大盛況の富キャン祭

初日は雨に見舞われました。校内公開とはいえない心配なスタートでしたが、寂しい雰囲気などは一切なく、各生徒が友達のクラスの催し物に訪れ、賑やかな笑い声の絶えない一日となりました。翌日の一般公開では、天気は晴れ。少し汗ばむ陽気の中、オープニングのテーパーカットから多くの来校者がありました。各クラスの催し物は長蛇の列で、1時間待ち、となるクラスも珍しくありませんでした。ま



有志ダンス [にゅーじえね(仮)]



進学3の5 [ドリンク買って下さい]

進学3の2 [わたあめ・落書きせんべい]



白鷲大学コーナー



ダンス同好会



進学2の3 [富タコ]

ESS同好会 Quiz in English!!



た、同好会ならではの特色ある催し物、有志のバンド演奏など、どれも大盛況でした。最後に印象に残った生徒の感想を紹介します。二日中休む暇もなかったけど、仲間たちと一つの目標に向けて頑張れたことが最高に楽しかった。」大成功の富can祭でした。

女子サッカー部

創部以来初の関東大会出場

10月29日から11月6日、茨城県鹿嶋市で、第12回関東高校女子サッカー秋季大会が行われました。関東大会への出場は創部以来初めてのことであり、部員にとって大きな目標のひとつでした。

大会当日は、天候にも恵まれ、精一杯プレーすることができました。対戦校は、東京都の第3代表である都立飛鳥高校でした。高校女子サッカーでは全国でも有名なチームであり、胸を借りるつもりで戦いました。試合結果としては前半0-4、後半0-0の計0-4で二回戦敗退となりました。相手チームの一人一人のレベルが高く、自分たちのサッカーを表現できない時間帯が多かったですが、関東の強豪校相手にも戦える部分を発見することができました。今回の経験を生かし、今後は「関東で通用するチーム」を目標に努力したいと思えます。



ミーティングの様子

がんばれ 女子サッカー部!



試合中の様子



女子サッカー部集合写真

富キャンExpress vol.22 題字の右側のカメメのロゴは富田キャンパス文芸イラスト同好会の生徒の作品です。お忙しい中、原稿・写真等の協力ありがとうございました。

編集 富キャンExpress係
発行 白鷲大学足利高等学校富田校舎
足利市多田木町1067
0284-912633
0284-912633
足利印刷株式会社
平成29年1月5日